

未来への教訓

復興！ 大津波の記憶を風化させない

平成27年(2015年)

8月の出来事

～地元報道より～

◇南三陸町は高速輸送システム(BRT)で運行継続の方針を示している。町民との意見交換として産業団体(商工会・漁協・農協・観光協会など)と懇談会を代表者15人と開催する(5日)

◇南三陸町は地方創生・官民連携推進室長に、財務省出向職員の檀浦氏(長崎県出身、37才)を招いた。国から迎えるのは合併後初めてで、佐藤町長はパイプ役としてその手腕を期待している。

◆東部相談所気仙沼支所では26年度の「児童虐待」が22年の被災前と比べ1.7倍に急増している。7割以上が小学校被害との報告がされた。

◆第64回気仙沼みなとまつりの「はまらいんや踊り」に3千人が参加した。

◇志津川高校生徒会(295人)で防災庁舎の県有化へのアンケートを実施した。93.6%(276人)からの回答があり、35.5%の賛成、18.3%の反対があり、46.2%の半数近くは難しい問題と「どちらとも言えない」との回答だった。今回の実施は高校生も深い関心がある事を知ってもらう為と話している。

◇南三陸町でBRTに対する産業団体の懇談会が5日あり、BRTの町の受け入れに異論は出なかった。

◇5日南三陸町で今年度最高の「36.6度」を記録した。

◇南三陸町の防災集団移転整備事業は、20地区28団地計841戸を整備する。その内7割が住宅着工となり、8割が町外建設業者が受注している。

◇南三陸町で震災後初めて熱中症による死者がでた。80代の女性で自宅で扇風機を使っていて、6日午前10時30分ごろ、意識を失い救急車で運ばれ死亡した。

◇南三陸町の次期総合計画の骨子案をまとめた。復興や人口減少を見据えて、交流・定住人口の増加を重点に産業のブランド化を進めるなど、年内の策定を目指す。

◆気仙沼市の「気仙沼市観光コンベンション協会」と「本吉観光協会」は28年4月の合併へ。

◆本吉・気仙沼地区で、携帯のショートメールでの架空請求の事案が発生している。警察署では「不審メールは無視して」と呼び掛けている。

◇南三陸町佐藤町長は「鉄道は現実的に不可能であり、あり得ない。」と話す。一部の議員は沿線自治体と要望活動を継続を求めたが、佐藤町長は否定的な考えを示す。

◇南三陸町は歌津館浜仮設の15戸のうち、空き室となった5戸を移転リホームし、町営住宅として若者定住策として活用する。家賃は2Kが2万4千円、3Kが3万2千円で、平成30年3月31日までは半額措置をとる。

◇JA宮城は30年に再編成される。南三陸は「北東部」として、登米・石巻・栗原の3つの農協が合併する。「中西部」は古川(大崎)・みどりの(加美町)などで、「中南部」は仙台・名取・岩沼などの合併を予定している。

◆気仙沼署管内の飲酒運転が今年の1.5倍となっている。8月13日まで15人が検挙され、飲酒運転は「原則逮捕」で厳しく対応をしていくと話す。

◇南三陸町の町民の運動と憩いの場として親しまれた「松原公園」の復旧にあたり、八幡川沿いの志津川助作地区の3.5haに野球場・陸上公認トラックの整備に着手する。29年7月の供用を開始をめざす。

◇歌津地区の交流野球大会が15日開催された。昨年より1チーム多い5チームで地域住民と帰省客も参加しプレーを楽しんだ。決勝は石巻と泊浜で、6対5の接戦の末、石巻が優勝した。

◆気仙沼市災害公営住宅の入居者の家賃収納率が88%で、滞納額が100万円ほどになっている。◇歌津地総合支所の再建が「平成の森敷地内」に鉄骨平屋建てで延べ床面積1360㎡で整備さ

れる。9月から造成工事に入り29年4月の供用を目指す。役場施設・診察室・調理室を配置する。◇南三陸町にジャイカ(独立行政法人国際協力機構)の8か国から15人が来町し、復興状況などを視察した。

◆気仙沼市の障害者施設が足りない。入所者の受け入れ、入所者の年齢の上限がなく、退所者が少ないことがあげられる。仕事を始めた保護者の増加もその要因に上げられる。募る保護者の不安と心配の中で、満室により新規利用が困難になっている。

◇南三陸町は国の教育制度改革にあたり、「教育施策大綱」を策定した。基本理念として「ふるさと南三陸町を愛し、志を掲げ未来を創造する力を持った人を育てる」をかかげ防災教育に重点を置くとした。

◇南三陸町にボランティアとして来町した埼玉県さいたま市出身の二人が神割崎で結婚式を挙げた。神夏磯さんご夫妻に、被災支援のお礼にと住民が企画した。お二人は「南三陸町を第二の古里」と今後も応援をしたいと話した。

◆気仙沼市税金納付のコンビニ利用は26年度より2万件多い約11万7千件を数え、額も1億5千万円多い10億1400万円となった。2年間で利便性が浸透した。

◇「リアス・ハイウェイ女性の集い」の結成当時の会員が交流を深めた。10名の会員に前気仙沼鈴木市長、元本吉町千葉町長、元歌津牧野町長、元志津川阿部町長に小野寺五典代議士も駆け付け、当時の活動や今後の被災地の事を語り合い親睦を深めた。

◆気仙沼魚市場に24日、大型サンマ漁船が入港した。一番船は県内初で38トン水を水揚げした。◇南三陸町「戦没者追悼式」が22日に総合体育館で開催された。約150人が集まり「語り続けていく事」で不戦を誓った。

◇南三陸町の「総合ケアセンター」と「新病院」の工事が最終段階をむかえ、年内開院の見通しとなった。総工費52億円で、その内22億円は台湾赤十字組織の寄付金が含まれている。

◇南三陸町歌津の「栴公営住宅」で、雨水が室内や床下にたまり、1階部分で畳にカビが発生したりして使えないと、町に改善を求めている。入居者は「まさかこんなことになるとは」と困惑している。

◇南三陸町に県の企画で、全国の人事担当者が

集まった。各都道府県や市町村100自治体から160名が来町視察し、町では職員派遣に協力と呼び掛けた。

◇パソコン全国大会でアビバキッズ志津川教室の2人が優勝した。プレゼンテーション部門の高校の部で阿部真知さん(志津川高校)と、イラスト部門5・6年生の部で山内朱里(入谷6年)が受賞し、他8名が入賞をはたした。

◇南三陸町の佐藤町長は歌津栴のカジ被害と第一号の入谷公営の水道トラブルなど、入居者に陳謝をした。25日、原因調査に町と業者が入った。

◇町の「総合戦略推進会議」で、「UIJターン者の支援に重点を置く」との町の基本方針を了承した。

◇志津川高校の「旭ヶ浦祭2015」が9月5日から開催され、「青春の1ページを描こう」として、音楽部の演奏や文化部の展示が行われた。4日にはさんさん商店街から高校まで、志高恒例の「仮装行列」が行われる予定。

◇志津川町内に残る阿部長商店の「高野会館」が震災遺構としての保存検討、解体が専門家の視察により協力を約束した。当時、町の老人クラブ発表会があり、327人が4階にとどまり、町民の命を守った施設として保存が求められていた。

◇宮城県は南三陸町の「防災庁舎」の遺構保存に向け予算化をする。9月定例会に調査費として「1841万円」を計上し、議決を経て現地調査・補修工事の内容を決める方針が進められている。

◆気仙沼市の「本吉響高校」は26日加美町で開催された県学校家畜審査協議会において、初出場団体優勝し、個人でも全員が入賞し、内2人が東北大会への出場を決めた。農業高校が約10校参加した。

◇9月から全国一斉に国勢調査が始まり、今回からネット回答が可能となった。

◆宮城県漁協気仙沼支部大島出張所で津波をかぶった貴重資料の修復作業が終った。資料は110年以上も前の大島や国内の沿岸漁業の歴史資料として全国的にも珍しく、大島漁協は書庫を建設し資料を保存する。

◇南三陸町にデザイン塾が立ち上げられる。南三陸杉の活用、売り込みの対策として、町内の林業家が「南三陸杉」のブランド化を進め、国内の若手職人・デザイナーを公募し協力を得ながら家具や東京五輪関連商品の開発に取り組む。発足を記念して28日にセミナーが開催された。

1年間ありがとうございました

喪中

喪中につき年末年始の挨拶を遠慮申し上げます
三月に父〇〇が八十八才にて永眠いたしました
ここに本年中に賜りましたご厚情を深謝致しますと共に
明年も変わらぬご交誼のほどお願い申し上げます
平成二十七年十二月

千九百六十一〇〇〇〇
宮城県本吉郡南三陸町〇〇〇〇〇〇〇〇
電話 〇二二六〇一〇〇〇〇番



南三陸町志津川湾の荒嶋と荒嶋神社

謹賀新年

旧年中は格別のご厚情を賜り誠にありがとうございました
心より感謝申し上げます
本年も何卒よろしくお願ひ申し上げます
平成二十八年 元旦
千九百六十一〇〇〇〇
電話 〇二二六〇一〇〇〇〇番

喪中はがきは電話注文が便利です。年賀ハガキもその他たくさん見本(黒1色・カラー等)がございます。今年はオリジナルで志津川湾荒島のカラー写真はいかがでしょうか。ご用命をおまちしております。

TEL 46-3069

千葉印刷店主